

## 22. 福岡県北九州市

エコタウン名称	北九州エコタウン		
承認年	平成9年		
エコタウンの特長	<p>北九州市は、長年にわたる「モノづくりのまち」としての産業基盤や技術力、公害克服の過程で培われた人材・技術・ノウハウ等を活かし、資源循環型社会の構築を図るため、「環境保全政策」と「産業振興政策」を統合した独自の地域政策として、1997年7月から若松区響灘地区を中心に「北九州エコタウン事業」を推進しています。</p> <p>近接する北九州学術研究都市との連携により、環境分野の「教育・基礎研究」から「技術・実証研究」、「事業化」に至るまで総合的に事業を展開しています。</p> <p>また、2008年8月に「エコタウン事業第2期計画」を策定し、リサイクルだけでなく、新たな戦略のもとに事業を進めており、さらに、2004年10月には対象エリアを市全域に拡大し、既存産業インフラ等を有効活用することにより、環境調和型のまちづくりに取り組んでいます。</p>		
URL	<a href="http://www.kitaq-ecotown.com">http://www.kitaq-ecotown.com</a>		
自治体の取組	財政面の支援	例) 補助金、優遇措置、等	<p>環境分野の課題の解決に先導的役割を果たすことを目的として、新規性、独自性に優れ、かつ実現性の高い環境技術の実証研究等に対して、その研究開発費を助成する「環境未来技術開発助成制度」を設け、市内中小企業等に技術開発の機会を提供しています。</p>
	事業面の支援	例) 独自の認定制度、展示会、商談支援、等	<p>市内の環境負荷低減につながる技術・製品・サービスを「エコプレミアム」として選定し、その拡大浸透を図ることを通じて市内産業界全体の環境配慮活動を促進する「エコプレミアム」事業を進めています。</p> <p>また、選定されたエコプレミアムの中から「新規性・独自性」と「市場性」について、特に優れているものを「いち押しエコプレミアム」として重点的に支援を行なっています。</p>
	その他	例) 産官学連携、協議会等の設置、情報発信、等	<p>平成13年6月に北九州エコタウン事業を総合的に支援するための中核的支援施設として北九州エコタウンセンターを開所し、エコタウンに立地する施設の見学案内、エコタウン事業や市内の環境産業に関する紹介・展示を行っています。</p> <p>また、エコタウン企業も含めた、事業者、行政、経済団体、学術機関等の各主体が『情報を共有し、共に考え、共に行動する場』として、産業ネットワーク「北九州市環境産業推進会議」と5つの部会を設置し、リサイクル産業の高度化やエネルギーの地産地消等、様々な視点から取組みを推進しています。</p>

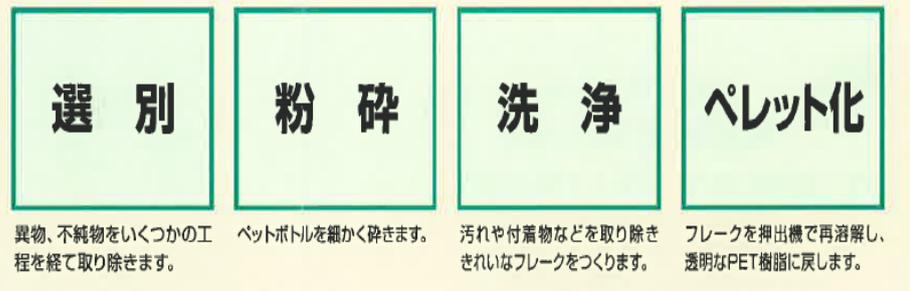
問合せ先窓口	担当部署名	環境局環境未来都市推進室		
	担当者名	松尾・竹井		
	連絡先	電話番号	093-582-2630	
		FAX	093-582-2196	
		Eメールアドレス	sanae_matsuo01@city.kitakyushu.lg.jp	

## 22.1 西日本ペットボトルリサイクル株式会社

### 22.1.1 事業者情報

名 称	西日本ペットボトルリサイクル株式会社			
本社住所	〒 808-0012	北九州市若松区響町1丁目62番		
資本金、出資金	100,000 千円			
従業員数				
設立年月日	平成 9 年			
URL				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再商品化の原料となるペットボトルの引取・運搬・保管</li> <li>・前号のペットボトルの再生処理加工による製品の製造及び、その製品の運搬並びに販売</li> <li>・前各号に付帯関連する一切の事業</li> </ul>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	中村晃一		
	連絡先	電話番号	093-761-7733	
		FAX	093-761-7766	
Eメールアドレス		k.nakamura1955@npr-k.co.jp		

22.1.2 技術情報

キーワード	ペットボトル 廃プラ リサイクル PP キャップ			
技術名称	ペットボトルリサイクル技術			
技術の分類	破砕・選別			
目的・用途	ペットボトルから再生された PET 樹脂は、繊維や PET シート製品(トレイ、包装容器)、PET ボトル等の素材として使用			
特長	高効率、高品質の PET 樹脂再生技術			
設備、製品等の写真、イメージ	 			
処理フロー図	 <p>選別: 異物、不純物をいくつかの工程を経て取り除きます。</p> <p>粉砕: ペットボトルを細かく砕きます。</p> <p>洗浄: 汚れや付着物などを取り除ききれいなフレークをつくります。</p> <p>ペレット化: フレークを押し機で再溶解し、透明なPET樹脂に戻します。</p>			
廃棄物の種類	一廃	廃ペットボトル	受入条件、形状	圧縮ボール
供給資源・製品	ポリエチレンテレフタレート フレーク		形状	8mmφスクリーン破砕品
	ポリエチレンテレフタレート ペレット		形状	平均 2.5mmφ x 2.5mm 長

アピールポイント	廃棄物等 排出者側 のメリット	例) 処理料金、買 取料金、環境負荷 削減効果、等	・ 安全・安心、高効率再生
	製品購入 者側のメリ ット	例) 環境負荷削減 効果、製品の品 質、販売価格、等	・ バージン樹脂並の利用特性に対し、バー ジンより安価 ・ 二酸化炭素排出量削減
	その他	例) 受賞歴、施設 見学受入者数、等	環境大臣表彰受賞(循環型社会形成推進功 労者等表彰:平成 19 年 10 月) 経済産業大臣賞受賞(リデュース・リユース・リサイクル推 進功労者等表彰:平成 22 年 10 月) 北九州エコプレミアム認定(平成 22 年 10 月) 受け入れ見学者数 累計 79,475 人(平成 26 年 1 月現在)

### 22.1.3 実績情報

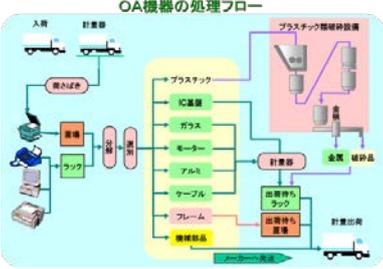
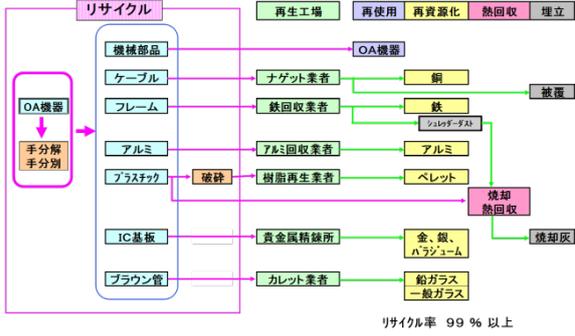
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃PETボトル	非公開	非公開	千トン/年
受入可能量	廃PETボトル	-	非公開	千トン/年
販売実績量の推移	再生 PET 樹脂ペレット	非公開	非公開	千トン/年
	再生 PET 樹脂フレーク	非公開	非公開	千トン/年
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
補助金等支援策の 活用実績(過去 5 年 間)	(北九州市)中小企業省エネ設備促進事業補助金 H23/8 月 ・空調機設備更新、ブロアーインバータ化による電力削減 (北九州市)中小企業省エネ設備促進事業補助金 H24/6 月 ・高効率ボイラーの設置及び水銀灯の無電極ランプ化			

## 22.2 株式会社リサイクルテック

### 22.2.1 事業者情報

名 称	株式会社リサイクルテック			
本社住所	〒 808-0021	北九州市八幡西区黒崎三丁目 9-24 ニッセイ新黒崎ビル 5F		
資本金、出資金	30,000 千円			
従業員数	26 人			
設立年月日	平成 10 年 12 月			
URL	<a href="http://www.shinryo-gr.com">http://www.shinryo-gr.com</a>			
事業概要	使用済 OA 機器のリサイクル			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	株式会社 リサイクルテック		
	担当者名	越治 昭彦		
	連絡先	電話番号	093-752-5322	
		FAX	093-752-5323	
E メールアドレス		5600881@shinryo-gr.com		

22.2.2 技術情報

キーワード	OA 機器リサイクル、パソコンリサイクル、ゲーム機リサイクル		
技術名称	使用済み OA 機器、パソコン、ゲーム機、ATM 等の解体・リサイクル		
技術の分類	破碎・選別		
目的・用途	OA 機器、電気・電子機器などを分解・分別し再資源化し、新たな機器の部品、材料として提供する。		
特長	引き取った電気・電子機器を材質・材料ごとに一つ一つ丁寧に分解・分別を行って新たな機器などの部品や材料として提供します。		
設備、製品等の写真、イメージ	 <p>OA機器の処理フロー</p> <p>この図は、OA機器の処理プロセスを示しています。左側には「入荷」「計量器」「搬入ばさみ」「解体」「選別」の工程が示されています。右側には「プラスチック類破砕設備」「IC基板」「ガラス」「モーター」「アルミ」「ケーブル」「フレーム」などの部品が分別され、「計量器」「金属 磁粉品」「出荷待ちトラック」「出荷待ち倉庫」を経て「計量出荷」される流れが示されています。</p>		
処理フロー図	 <p>OA機器リサイクルのしくみ</p> <p>この図は、OA機器のリサイクルプロセスを詳細に示しています。左側の「OA機器」は「手分解」「手分別」を経て「機械部品」「ケーブル」「フレーム」「アルミ」「プラスチック」「IC基板」「ブラウン管」に分類されます。これらの部品はそれぞれ異なる処理業者へ送られます：機械部品は「再生工場」へ、ケーブルは「ナゲット業者」へ、フレームは「鉄回収業者」へ、アルミは「アルミ回収業者」へ、プラスチックは「樹脂再生業者」へ、IC基板は「貴金属精錬所」へ、ブラウン管は「カレット業者」へ。また、一部の部品は「焼却 熱回収」を経て「焼却灰」になります。最終的に「再利用」「再資源化」「熱回収」「埋立」が行われます。リサイクル率は99%以上と記載されています。</p>		
廃棄物の種類	一廃	廃小型家電類 (家電4品目以外)	受入条件、形状
	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状
	産廃	その他金属くず(品目: )	受入条件、形状
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状
供給資源・製品	プラスチック	形状	圧縮梱包、ペレット
	IC基板	形状	フレコン
	非鉄金属、鉄スクラップ	形状	フレコン、バラ

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	二酸化炭素削減効果は以下の通り。(CO2-kg/台) コピー機 -86.925 ノートパソコン -0.529 デスクトップパソコン -5.547
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	年間見学者数約 3,000 人(H24 年度)

### 22.2.3 実績情報

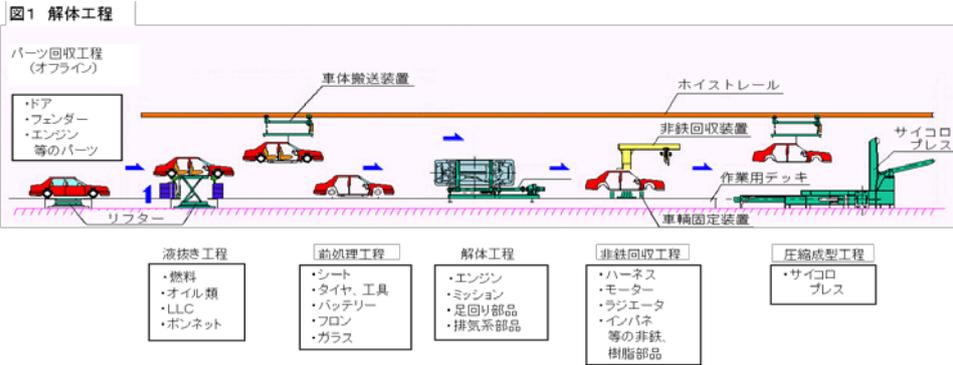
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラスチック	3,177	4,500	t
	金属くず	76	46	t
	ガラスくず	0	4	t
受入可能量	廃プラスチック	-	5,000	t
	金属くず	-	100	t
	ガラスくず	-	10	t
販売実績量の推移	プラスチック	非公開	非公開	t
	IC 基板	非公開	非公開	t
	非鉄金属、鉄スクラップ	非公開	非公開	t
主な調達先	OA 機器メーカー			
主な供給先	樹脂再生業者、金属回収業			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開			

## 22.3 西日本オートリサイクル株式会社

### 22.3.1 事業者情報

名 称	西日本オートリサイクル株式会社			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町1丁目62番		
資本金、出資金	100,000 千円			
従業員数	45 人			
設立年月日	平成 11 年 1 月			
URL	<a href="http://www.warc.co.jp">http://www.warc.co.jp</a>			
事業概要	<p>■使用済み自動車のリサイクル業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入れた使用済み自動車から、使える部品を外し、中古自動車部品（リユース部品）として販売。</li> <li>・部品を外し終わった使用済み自動車を解体しながら、非金属、鉄、非鉄金属、その他樹脂等に分別回収を行い、素材としてリサイクル業者へ販売。</li> </ul>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	業務部		
	担当者名	塚本 雅之		
	連絡先	電話番号	093-752-5090	
		FAX	093-771-4733	
Eメールアドレス		mtsukamoto@warc.co.jp		

22.3.2 技術情報

キーワード	自動車リサイクル		
技術名称	自動車解体技術		
技術の分類	破碎・選別		
目的・用途	自動車をシュレッダー処理することなく、サイコロ状にしたプレスをそのまま鉄の原料として使用されている。		
特長	自動車鋼板をスクラップ原料の殆どは、電気炉メーカーで使用されていますが、当社では、高級鋼板である自動車鋼板を製造している高炉メーカーで使用されている。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	廃自動車	受入条件、形状	
供給資源・製品	・自動車リユース部品	形状	
	・自動車プレス	形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	ASR(シュレッダーダスト)を発生させない方法(全部再資源化業者)

	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	1台当たりの処理・再生に伴うCO <sub>2</sub> 排出量は約420kgですが、リサイクルにより約1000kgのCO <sub>2</sub> 排出が抑制できます。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・年間見学者受入数 : 約10,000人 ・2005年 愛知万博 愛・地球賞 (世界環境技術100選) 受賞

### 22.3.3 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	使用済み自動車	非公開	非公開	台
受入可能量	使用済み自動車	-	非公開	台
販売実績量の推移	・自動車プレス(鉄スクラップ)	非公開	非公開	t
	・ワイヤーハーネス(銅線)	非公開	非公開	t
	・スクラップエンジン(アルミ+鉄)	非公開	非公開	t
	・自動車中古部品	非公開	非公開	M¥
主な調達先	・自動車ディーラー、損保会社、地元整備工場等			
主な供給先	・自動車プレス(鉄スクラップ) ・新日鐵住金株式会社(八幡製鐵所) ・自動車中古部品(リユース部品)・ ・整備工場			
設備投資の実績(過去5年間)	・工場建屋の一部拡張 ・リフター			
海外展開の実績(過去5年間)	・自動車の中古部品をアジア地区を中心に輸出中。(売上3~4億円/年)			
補助金等支援策の活用実績(過去5年間)	北九州市低炭素社会「見える化」推進事業補助金で、工場の照明及びエントランス外灯を省エネ照明、LED証明へ交換			

## 22.4 西日本家電リサイクル株式会社

### 22.4.1 事業者情報

名 称	西日本家電リサイクル株式会社			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町1丁目62番地		
資本金、出資金	400,000 千円			
従業員数	40 人			
設立年月日	平成10年12月4日			
URL	<a href="http://www.nkrc.co.jp">http://www.nkrc.co.jp</a>			
事業概要	使用済み家電製品の再商品化事業			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理部総務課		
	担当者名	奥平 輝男		
	連絡先	電話番号	093-752-2424	
		FAX	093-752-2425	
Eメールアドレス		tetuo1.okudaira@nkrc.co.jp		

22.4.2 技術情報

キーワード	廃家電のリサイクル技術			
技術名称	使用済み家電製品の再商品化技術			
技術の分類	破砕・選別			
目的・用途	廃家電製品は、手分解・破砕・選別を行い、様々な材料に回収し、製鉄所・プラスチック業者などに排出して、資源として活用しています。			
特長	プラスチックの選別技術については、水の比重で選別を行い、使用済みの排水は再利用して使用しています。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃	廃家電 4 品目 (TV, エアコン, 洗濯機, 冷蔵庫)	受入条件、形状	有り姿
供給資源・製品	シュレッダー鉄	形状	固形 50mm	
	非鉄	形状	固形 30mm	
	プラスチック	形状	粉碎 13mm アンダー	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	家電製品を着実にリサイクル処理し、高い再資源化を実現すること、フロン回収・無害化やCO2 排出量の抑制、並びにゼロエミッションの推進などを更に良い方法で実現できるように日々取り組んでいます。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	N/A
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	ISO14001、OHSMS 認証

#### 22.4.3 実績情報

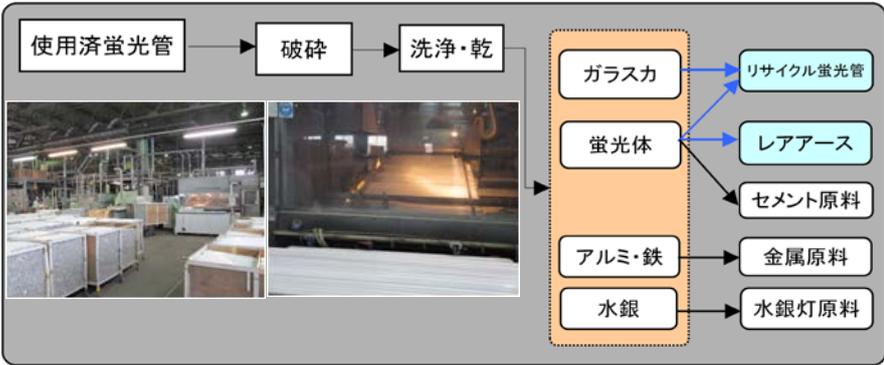
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃家電	非公開	非公開	千台
受入可能量	廃家電	-	1,000	千台
販売実績量の推移	シュレッダー鉄	非公開	非公開	千トン
主な調達先	消費者(廃家電)			
主な供給先	製鉄所・プラスチック業など			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	ウレタン風力選別装置を導入し、ウレタンの塩素濃度を 3000ppm 以下にコントロールすることにより、RPF 化したウレタンを有償化できた。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	冷蔵庫用新破碎機を導入し、処理能力 UP を可能とした。 また、熱交換器銅・アルミ分離装置及びコンプレッサー分割装置を導入した			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	N/A			

## 22.5 株式会社ジェイ・リライツ

### 22.5.1 事業者情報

名 称	株式会社ジェイ・リライツ			
本社住所	〒808-0021	福岡県北九州市若松区響町一丁目 62 番地の 17		
資本金、出資金	275,000 千円			
従業員数	14 人			
設立年月日	平成 12 年			
URL	<a href="http://www.j-relights.co.jp">http://www.j-relights.co.jp</a>			
事業概要	・使用済み蛍光管及び使用済み乾電池のリサイクル事業			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理部		
	担当者名	永浜 慎一郎		
	連絡先	電話番号	093-752-2386	
		FAX	093-752-2387	
E メールアドレス		j-nagaha@j-relights.co.jp		

22.5.2 技術情報

キーワード	蛍光管、乾電池、リサイクル蛍光管			
技術名称	蛍光管リサイクル技術			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	使用済み蛍光管を「ガラス」「金属」「蛍光粉」「水銀」の原料に分離、蛍光管の再資源化原料等として使われています。			
特長	使用済み蛍光管の処理による回収した再資源化原料を使用してリサイクル蛍光管を製造(OEM)、販売しています。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃	使用済み蛍光灯	受入条件、形状	原型管
	産廃	ガラスくず、金属くず、廃プラスチック類	受入条件、形状	
	一廃	使用済み一次電池	受入条件、形状	一次電池は水銀を含有しない
	産廃	汚泥、金属くず	受入条件、形状	

供給資源・製品	ガラスカレット		形状	
	蛍光体		形状	
	アルミ・鉄類		形状	
	水銀		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されずに資源を再利用することで、使用済み蛍光管処理による平成 24 年度CO2低減効果は▲396 トン-CO2(北九州市立大学松本教授作成による CO2 排出量計算ソフト使用による試算値)、また資源の節減による環境影響の抑制や水銀による環境汚染の防止に貢献できる。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・リサイクル蛍光管を購入することで、資源の節減に貢献できる。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・平成 21 年度資源循環・システム表彰(経済産業省技術環境局長)他 ・5,000 人/年の施設見学受入	

### 22.5.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	使用済み蛍光管	2,114	1,858	t
	使用済み乾電池	852	774	t
受入可能量	使用済み蛍光管	-	18.3	t/日(12 時間)
	使用済み乾電池	-	5.6	t/日(8 時間)
販売実績量の推移	リサイクル蛍光管	83.4	48.4	千本
主な調達先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中四国以西の自治体及び企業(使用済み蛍光管及び使用済み乾電池)</li> <li>・東芝ライテック(リサイクル蛍光管)</li> </ul>			
主な供給先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラスチューブメーカー(ガラスカレット)</li> <li>・自治体及び企業(リサイクル蛍光管)</li> </ul>			

<p>技術開発の実績 (過去 5 年間)</p>	<p>・使用済み蛍光管からのレアアース回収、再資源化 (福岡県等との共同プロジェクト)</p>
<p>設備投資の実績 (過去 5 年間)</p>	<p>非公開</p>
<p>補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)</p>	<p>・北九州市「回収蛍光粉の高品位化」(H25 年度)</p>

## 22.6 株式会社エコウッド

### 22.6.1 事業者情報

名 称	株式会社エコウッド			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町1丁目12-1		
資本金、出資金	300,000 千円			
従業員数	43 人			
設立年月日	平成 14 年 7 月			
URL	<a href="http://www.eco-wood.jp">http://www.eco-wood.jp</a>			
事業概要	廃木材と廃プラスチックを主原料とした建築資材の製造販売			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理部		
	担当者名	林節夫		
	連絡先	電話番号	093-751-2424	
		FAX	093-751-2430	
Eメールアドレス		hayashi@eco-wood.jp		

22.6.2 技術情報

<p>キーワード</p>	<p>廃木材、バイオマス、廃プラスチック、合成木材、再生木材、人工木材、木材・プラスチック再生複合材</p>			
<p>技術名称</p>	<p>廃木材と廃プラスチックを用いた建築資材の製造</p>			
<p>技術の分類</p>	<p>その他(破砕・選別、押出成型、加工)</p>			
<p>目的・用途</p>	<p>主にエクステリアとして、デッキ、ルーバー、ベンチ等の建築資材としてお使い頂いています。</p>			
<p>特長</p>	<p>従来の天然木材に比べ、耐久性に優れ、使用後のリサイクルも可能です。</p>			
<p>設備、製品等の写真、イメージ</p>				
<p>処理フロー図</p>				
<p>廃棄物の種類</p>	<p>有償</p>	<p>廃木材</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>フィンガーサイズ</p>
	<p>有償</p>	<p>廃プラスチック類(PET除く)</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>粉碎形状</p>

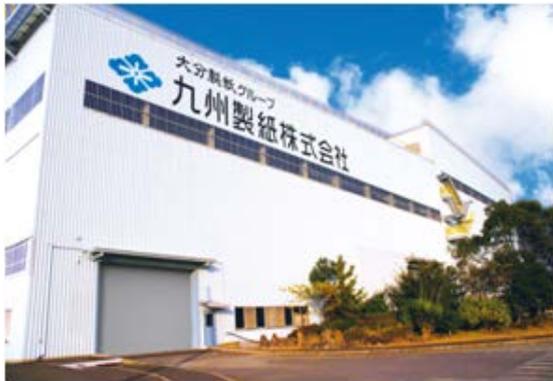
供給資源・製品	木材・プラスチック再生複合材		形状	厚 30×幅 145×長 2000 mm他
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源としてリサイクルが可能であり、排出者は CRS(社会的責任)を向上することができます。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	環境負荷削減効果、製品の品質(安全・安心等) 販売設計価格 20,000 円/m <sup>2</sup>	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・ISO9001:2008    ・JIS A 5741 木材プラスチック再生複合材    ・エコマーク    ・北九州市建設リサイクル資材認定    ・北九州エコプロダクツ ・福岡県リサイクル製品    ・九州環境ビジネス大賞 優秀賞    ・福岡産業デザイン賞    ・新建築技術認定商品    ・カーボンフットプリント使用許諾 見学者受入数:平成 24 年度実績約 1100 人	

### 22.6.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃木材	非公開	非公開	トン
	廃プラスチック	非公開	非公開	トン
受入可能量	廃木材	-	非公開	トン
	廃プラスチック	-	非公開	トン
販売実績量の推移	木材・プラスチック再生複合材	非公開	非公開	トン
主な調達先	中間処理業者、プラスチック再生業者			
主な供給先	ハウスメーカー、建築資材施工会社、商社			
技術開発の実績(過去 5 年間)	自己消火性、遮熱性、表面意匠性、軽量化を付与した木材・プラスチック再生複合材			
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	北九州市環境未来技術助成			

## 22.7 九州製紙株式会社

### 22.7.1 事業者情報

名 称	九州製紙株式会社			
本社住所	〒870-0114	大分県大分市小中島 2 丁目 4-45		
資本金、出資金	3,000 千円			
従業員数	47 人			
設立年月日	1970 年 6 月 18 日			
URL	<a href="http://www.kyushu-seishi.co.jp">http://www.kyushu-seishi.co.jp</a>			
事業概要	<p>西日本地域で発生する様々な古紙を再生利用し、高品質のトイレtpペーパーを生産する最新鋭工場です。</p> <p>工場より発生する製紙スラッジは、鉄鋼会社に供給するフォーミング抑制剤の原料として使用します。</p> <p>また、古紙原料中の夾雑物の廃プラスチック類は RPF(固形化燃料)の原料として使用しています。</p> <p>このようにしてあらゆる廃棄物を他の産業分野の副原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにする「ゼロ・エミッション」を目指しています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	製造部		
	担当者名	田北 泰久		
	連絡先	電話番号	093-663-7771	
		FAX	093-663-7772	
E メールアドレス		takita.yasuhisa@kyushu-seishi.co.jp		

22.7.2 技術情報(1)

キーワード	再生トイレトペーパー			
技術名称	古紙再生技術			
技術の分類	古紙選択・選別、紙繊維の調成、抄造、加工・成形(再商品化)			
目的・用途	再生商品の衛生紙トイレトペーパーの普及			
特長	産業系古紙、一般回収古紙及び難溶解性古紙を原料とした、トイレトペーパーの再生化			
設備、製品等の写真、イメージ	<p>トイレトペーパー写真</p> 			
処理フロー図	<p>古紙再生工程</p> <pre> graph LR     A[古紙原料] --&gt; B[原料溶解工程]     B --&gt; C[原質工程]     C --&gt; D[抄紙工程]     D --&gt; E[加工工程]     E --&gt; F[再生製品&lt;br/&gt;トイレトペーパー]     C --&gt; G[・異物除去&lt;br/&gt;・夾雑物除去&lt;br/&gt;・製紙廃水排出]     D --&gt; H[*トイレト用]     E --&gt; I[*フィルム包装&lt;br/&gt;ダンボール詰]                 </pre>			
廃棄物の種類	有償	古紙	受入条件、形状	ペーラー状、バラ
供給資源・製品	トイレトペーパー(衛生紙)		形状	ロール状

22.7.3 技術情報(2)

キーワード	RPF		
技術名称	減容・圧縮・固形化技術		
技術の分類	固形燃料化(RPF)		
目的・用途	固形燃料用ボイラーの熱源		

特長	原料古紙類中の廃プラスチック類＋微細紙繊維類で形成され、発熱量が安定している。			
設備等の写真	RPF 写真 			
処理フロー図	<p>RPF 製造工程</p> <pre> graph LR     A[古紙再生工場から排出された廃プラスチック類] --&gt; B[脱水・減容]     B --&gt; C[圧縮・固形化]     C --&gt; D[再生商品 固形化燃料(RPF)]           </pre>			
廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	バラ状
供給資源・製品	RPF		形状	φ 50 mm × 100 mm

#### 22.7.4 技術情報(3)

キーワード	フォーミング抑制剤
技術名称	選別・混合技術、乾燥技術
技術の分類	乾燥・加工・成形(再生品化)
目的・用途	鉄鋼業の製鋼工程で必要とする副資材。(発泡を抑制させる効果を必要とする。)
設備等の写真	<p>フォーミング抑制剤写真</p> 

処理フロー図	フォーミング抑制剤製造工程 再生商品 固形化燃料(RPF)			
廃棄物の種類	産廃	汚泥(製紙スラッジ)	受入条件、形状	バラ状
供給資源・製品	フォーミング抑制剤		形状	45 mm × 45 mm × 50 mm

### 22.7.5 実績情報

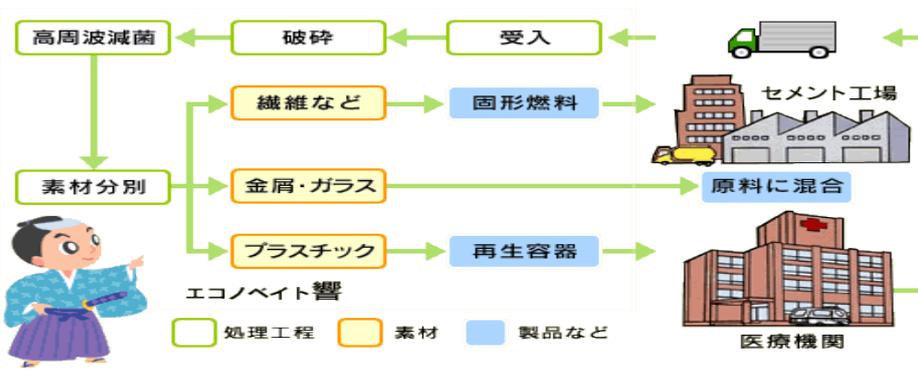
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	古紙	非公開	非公開	t
	汚泥(製紙スラッジ)	-	非公開	t
	廃プラ	-	非公開	t
受入可能量	古紙	-	非公開	t
	製紙スラッジ	-	非公開	t
販売実績量の推移	トイレットペーパー	非公開	非公開	t
	フォーミング抑制剤	非公開	非公開	t
	RPF	-	非公開	t
主な調達先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙: 大手商社、古紙問屋等</li> <li>・汚泥(製紙スラッジ): 自社、当社グループ工場</li> <li>・廃プラスチック類: 自社</li> </ul>			
主な供給先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレットペーパー(衛生紙): 問屋、スーパー、大型量販店等</li> <li>・フォーミング抑制剤: 鉄鋼業界</li> <li>・RPF: 大型固形燃料用ボイラー所有の大手製紙会社</li> </ul>			
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県リサイクル施設整備費補助事業(平成21年度)</li> <li>・福岡県リサイクル施設整備費補助事業(平成24年度)</li> </ul>			

## 22.8 麻生鉱山株式会社 北九州事業所エコノベイト響

### 22.8.1 事業者情報

名 称	麻生鉱山株式会社 北九州事業所 エコノベイト響			
本社住所	〒808-0021	福岡県飯塚市芳雄町 7 番 18 号		
資本金、出資金	450,000 千円			
従業員数	18 人			
設立年月日	昭和 50 年 7 月 22 日			
URL	<a href="http://www.aso-group.co.jp/eco-hibiki/">http://www.aso-group.co.jp/eco-hibiki/</a>			
事業概要	医療用具を破砕・高周波処理・分別し、固形燃料化してセメント原料等にリサイクル			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	環境事業室		
	担当者名	橋本 健一		
	連絡先	電話番号	093-761-2311	
		FAX	093-761-2101	
E メールアドレス		tsunawaki-m01@aso-group.co.jp		

22.8.2 技術情報

キーワード	医療器具リサイクル		
技術名称	高周波滅菌・固形燃料化		
技術の分類	その他(破碎・滅菌・選別・分級・固形燃料化)		
目的・用途	固形燃料／石炭代替燃料としてセメント工場等で利用されます。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	受入条件、形状	段ボール箱、プラ容器
供給資源・製品	減容固化物(固形燃料)	形状	ソーセージ状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	環境負荷削減効果、等
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	品質安定・安価(逆有償)
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学受入

22.8.3 実績情報

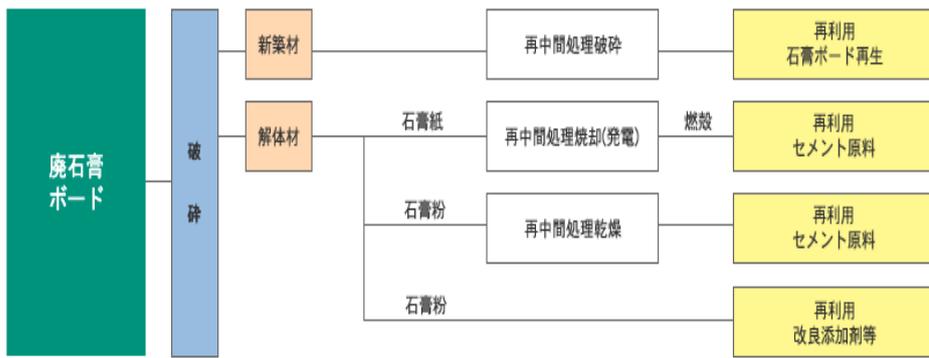
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	感染性廃棄物	非公開	非公開	kg
受入可能量	感染性廃棄物	-	非公開	kg
販売実績量の推移	減容固化物	非公開	非公開	kg
主な調達先	医療機関			
主な供給先	セメント工場、焼却炉(発電)など			

## 22.9 株式会社 NRS

### 22.9.1 事業者情報

名 称	株式会社 NRS			
本社住所	〒808-0021	福岡県北九州市若松区響町 1 丁目 79-1		
資本金、出資金	20,000 千円			
従業員数	60 人			
設立年月日	平成 20 年			
URL	<a href="http://www.nrs-inc.co.jp/">http://www.nrs-inc.co.jp/</a>			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物処理全般(木くず、紙くず、廃プラスチック類、ガラスくず、がれき類、金属くず、繊維くず、ゴム屑)を取り扱っています。</li> <li>・九州エリア及び山口県の収集運搬許可を有しています。</li> </ul>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理部		
	担当者名	荒木		
	連絡先	電話番号	093-752-6100	
		FAX	093-752-6111	
E メールアドレス		araki@nrs-inc.co.jp		

### 22.9.2 技術情報

キーワード	廃石膏ボード			
技術名称	廃石膏ボードリサイクル技術			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	分離した石膏粉は、石膏ボード原料・セメント原料として再利用します。石膏紙は、製紙原料として再利用します。			
特長	新築工事や解体の建設現場などから発生する廃石膏ボードを各業者様から収集し、リサイクルすることで環境への配慮はもちろん、大切な資源を無駄なく利用することができます。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	固形状・バラ

### 22.9.3 実績情報(1)

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	木くず	740	1,050	t
	紙くず	30	80	t
	廃プラ	1,110	1,580	t
	繊維くず	310	800	t
	ガラスくず	320	530	t

受入可能量	木くず	-	1,500	t
	紙くず	-	150	t
	廃プラ	-	1,700	t
	繊維くず	-	1,000	t
	ガラスくず	-	1,000	t
販売実績量の推移	再生石膏粉	-	530	t
主な調達先	主に建設業など			
主な供給先	主にセメント業、製紙業など			

#### 22.9.4 実績情報(2)

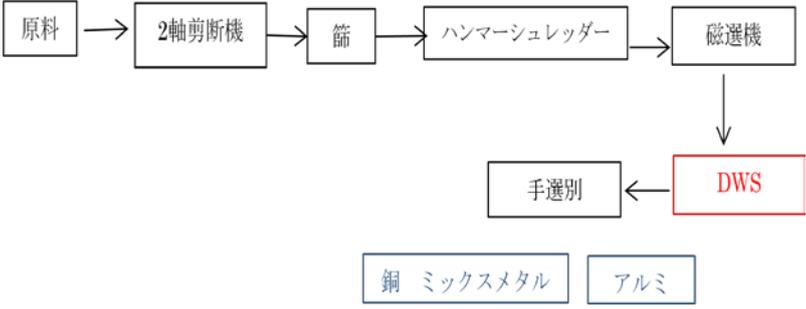
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	がれき類	240	330	t
	廃石膏ボード	4,630	11,860	t
	混合廃棄物	11,250	9,330	t
受入可能量	がれき類	-	500	t
	廃石膏ボード	-	15,000	t
	混合廃棄物	-	12,000	t

## 22.10 日本磁力選鉱株式会社【ひびき工場】

### 22.10.1 事業者情報

名 称	日本磁力選鉱株式会社【ひびき工場】			
本社住所	〒802-0077	北九州市小倉北区馬借三丁目 6 番 42 号		
資本金、出資金	資本金: 448,600 千円			
従業員数	全社: 400 人 【工場従業員数: 16 人】			
設立年月日	会社創業年月: 昭和 24 年 12 月 【工場操業開始: 平成 17 年 10 月】			
URL	<a href="http://www.nmd.co.jp">http://www.nmd.co.jp</a>			
事業概要	<p>貴重な資源の国内循環システムの確立を目指し、平成 17 年家電及び自動車リサイクル事業所から発生する熱交換器を受入れ、自社開発による選別機により素材毎に分別回収し、高品位な非鉄原料として素材加工メーカーを中心に製品を提供(1 期事業)。平成 20 年には熱交換器のみならず家電ミックスメタル、自動車ハーネス等取扱対象品目を拡大(2 期事業)。平成 20 年小型電子機器類リサイクルの実証実験を経て、平成 24 年からは、小型電子機器類のリサイクルを開始(3 期事業)。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総合企画本部		
	担当者名	脇園玲子		
	連絡先	電話番号	093-521-4400	
		FAX	093-521-4167	
E メールアドレス		wakizono@nmd.co.jp		

22.10.2 技術情報(1)

キーワード	風力 選別 分離			
技術名称	1期:DWS(デウス:ドラム型風力選別機)			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	熱交換器から銅、アルミの分離			
特長	傾斜配置され掻揚板を備えた回転筒体の風力選別機。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	その他金属くず (品目:熱交換器)	受入条件、形状	熱交換器単体
供給資源・製品	銅(99%)		形状	約-50mm チップ状 (フレコン)
	アルミ(99%)		形状	アルミブロック
	鉄		形状	約-50mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	◆貴重な資源の海外流出を防ぐ。 ◆各素材毎の選別回収が可能のため、製品としての用途が多様。(有利販売が図れる)	

	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	◆環境負荷削減効果 ◆安定かつ高品質原料として使用可能
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	◆特許 No.3263342 ◆見学者数 83組(平成 25 年度)

### 22.10.3 技術情報(2)

キーワード	選別 重液 ドラム型 分離			
技術名称	2 期:ドラム型重液選別機			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	原料(ミックスメタル)中の銅、アルミの分離			
特長	比重3に設定した疑似重液に原料を投入し、浮遊物でアルミ、沈降物で銅を回収する。			
設備等の写真				
処理フロー図	<pre> graph LR     A[原料] --&gt; B[トロンメ]     B --&gt; C[湿式選別機]     C --&gt; D[重液選別機]     D --&gt; E[アルミ選別]     E --&gt; F[手選別]     F --&gt; G[アルミ]     F --&gt; H[銅]     F --&gt; I[ミックスメタ] </pre>			
廃棄物の種類	有償	その他金属くず (品目: 廃家電ミックスメタル)	受入条件、形状	破碎物 (バラ、フレコン)
供給資源・製品	銅(99%)		形状	バラ
	アルミ(99%)		形状	バラ

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	◆貴重な資源の海外流出を防ぐ。 ◆各素材毎の選別回収が可能のため、製品としての用途が多様。(有利販売が図れる)
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	◆環境負荷削減効果 ◆安定かつ高品質原料として使用可能
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	◆見学者数 83組(平成25年度)

#### 22.10.4 技術情報(3)

キーワード	基板 レアメタル 剥離 回転 衝撃 破碎機
技術名称	3期:RIM(リム Rotary Impact Mill: 回転型衝撃破碎機)
技術の分類	レアメタル・レアアース等希少金属回収
目的・用途	プリント基板搭載部品の剥離
特長	ドラム本体の被処理物を掻き揚げることにより、効率的な破碎・摩鋳が可能
設備等の写真	
処理フロー図	<pre> graph LR     A[原料] --&gt; B[ハンマージェンレーター]     B --&gt; C[磁選機]     C --&gt; D[非鉄選別機]     D --&gt; E[RIM]     E --&gt; F[篩]     E --&gt; G[プラスチック類]     E --&gt; H[貴金属濃縮物] </pre>

廃棄物の種類	有償	廃小型家電類 (家電4品目以外)	受入条件、形状	有姿 (ハルターナ、ボックス回収)
	有償	その他(産業用基板)	受入条件、形状	バラ、ラップ結束、 ダンボール箱
供給資源・製品	貴金属濃縮物 (金、銀、パラジウム)		形状	-10mm
	ベースメタル(アルミ、鉄、銅)		形状	+10mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	◆貴重な資源の海外流出を防ぐ。 ◆各素材毎の選別回収が可能のため、製品としての用途が多様。(有利販売が図れる)	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	◆環境負荷削減効果 ◆安定かつ高品質原料として使用可能	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	◆特許 No.2909503 ◆見学者数 83組(平成25年度)	

#### 22.10.5 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	エアコン熱交換器	1,900	2,600	t
	廃家電ミックスメタル	900	1,040	t
	廃家電 ACコード・ハーネス	300	260	t
	他	3,300	100	t
	計	6,400	4,000	t
受入可能量	エアコン熱交換器	-	6,800	t
	廃家電ミックスメタル	-	4,300	t
	廃家電 ACコード・ハーネス	-	1,000	t
	他	-	1,000	t
	計		13,100	t

販売実績量の推移	アルミ	1,300	1,600	
	銅	1,000	1,500	
	他	2,800	700	
	計	5,100	3,800	
主な調達先	家電、自動車リサイクル事業所			
主な供給先	二次合金メーカー 銅製錬メーカー 伸銅メーカー 鉄鋼メーカー			
技術開発の実績 (過去5年間)	特許取得済:①ドラム型磁選機 ②風力選別機 ③重液選別機 ④回転型衝撃破砕機			
設備投資の実績 (過去5年間)	◆H20年、2期事業開始(ミックスメタル、電子基板、被覆銅線選別処理施設整備) ◆H24年、3期事業開始(小型電子機器及び廃基板類からのレアメタル・貴金属類のリサイクル)			
海外展開の実績 (過去5年間)	H25年 バーゼル条約に従って、インドより廃プリント基板類を輸入。			
補助金等支援策の活用実績(過去5年間)	北九州市:「環境未来技術開発助成金」  NEDO: ①「希少金属代替・削減技術実用化開発助成事業」 ②「インド E-Waste リサイクルシステム開発実証事業」  経産省: ①「インドにおける電気電子機器廃棄物リサイクルに関する実施可能性調査」 ②「ベトナムにおける…(①に同じ)」 ③「フィリピンにおける…(①に同じ)」			

## 22.11 九州・山口油脂事業協同組合

### 22.11.1 事業者情報

名 称	九州・山口油脂事業協同組合			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町一丁目 62 番 19		
資本金、出資金	5,900 千円			
従業員数	5 人			
設立年月日	平成 10 年 12 月 9 日			
URL	http://			
事業概要	<p>使用済み食用油を回収する業者 11 社、不可食部分の肉片から動物性油脂を抽出するレンダリング業者 3 社の計 14 社の組合員で構成された事業協同組合である。平成 14 年 2 月に北九州エコタウンに専用のリサイクル工場を竣工。組合員が外食産業などから回収した使用済み食用油などをエコタウン工場に集荷し、飼料用油脂、建築用油脂、バイオディーゼル燃料(BDF)などにリサイクルを行っている。また、エコタウン工場では、北九州市と共同で一般家庭からの使用済み食用油の回収事業を行っており、毎月 8 トンの一般家庭廃食用油が集荷され、バイオディーゼル燃料にリサイクルを行ない、環境貢献を行っている。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	営業部		
	担当者名	須藤 宏		
	連絡先	電話番号	093-752-0271	
		FAX	093-752-0272	
E メールアドレス		h.sudoh@ky-yushi.com		

### 22.11.2 技術情報

技術名称	FAME(脂肪酸メチルエステル)生産技術			
目的・用途	ディーゼル車の軽油代替燃料			
特長	軽油に性状に近い高品質なFAMEを生産している。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	廃食用油+メタノール→FAME+粗製グリセリン、湿式製法			
廃棄物の種類	有償	廃油	受入条件、形状	不純物1%以下、液状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	高品質なFAMEを生産する弊組合にリサイクルを委託する事によって有用なリサイクルを行っている事を対外的にアピールできる。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	使用済み食用油からのリサイクル品を使用する事で化石燃料の使用を削減でき、温暖化ガスの排出量削減を図れる。軽油に代わりFAMEを1リットル使用することで2.62kg-CO <sub>2</sub> /Lの効果が得られる。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	北九州市エコタウンセンターの定型見学コース企業である。	

### 22.11.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	使用済み食用油	非公開	非公開	kl
販売実績量の推移	飼料用油脂	非公開	非公開	t
	建築用油脂	非公開	非公開	t
	バイオディーゼル燃料	非公開	非公開	kl
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			

## 22.12 高野興産株式会社

### 22.12.1 事業者情報

名 称	高野興産株式会社			
本社住所	〒807-0806	北九州市八幡西区御開二丁目5番1号		
資本金、出資金	10,000 千円			
従業員数	20 人			
設立年月日	昭和 48 年			
URL	<a href="http://www.takano-k.com">http://www.takano-k.com</a>			
事業概要	廃棄事業部: 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を含む)全般の収集運搬及び 中間処理・環境分析 樹脂事業部: 廃プラスチック類のリサイクル(ペレット化) 溶剤事業部: 北九州エコタウンリサイクル団地のひびき事業所では、揮発性有 機溶剤の蒸留再生			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	ひびき事業所		
	担当者名	清田 昭		
	連絡先	電話番号	093-752-1651	
		FAX	093-752-1652	
E メールアドレス		takano200@eco.ocn.ne.jp		

## 22.12.2 技術情報

キーワード	廃油			
技術名称	蒸留再生技術			
技術の分類	有機溶剤再生			
目的・用途	機密機器の洗浄・医薬品製造過程の原料・塗料の原料			
特長	九州では唯一の蒸留再生の施設(外注の揮発性有機溶剤)			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	<p>排出事業者 → 原料分析 → 濃縮 → 蒸留再生 → 再生品 → 発注元</p> <p style="text-align: center;">└──────────┘</p> <p>※再生後に発生する廃溶剤の一部は、重油の補助熱源として再利用</p>			
廃棄物の種類	産廃	廃油(揮発性有機溶剤)	受入条件、形状	液状(ドラム缶・タンクローリー車)
供給資源・製品	再生有機溶剤		形状	液状(ドラム缶・タンクローリー車)
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット		焼却を軽減化し CO2 の増加防止	
	製品購入者側のメリット		処理費用の軽減化。焼却処分荷における環境負荷の軽減 CO2 製品のコストダウン	
例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等				
例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等				

## 22.12.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	有機溶剤	非公開	非公開	t
受入可能量	有機溶剤	-	非公開	t
販売実績量の推移	有機溶剤	非公開	非公開	t
主な調達先	業種別 電気機器・精密機器・医薬品・科学			
主な供給先	業種別 電気機器・精密機器・医薬品・科学			

## 22.13 株式会社西日本ペーパーリサイクル

### 22.13.1 事業者情報

名 称	株式会社西日本ペーパーリサイクル			
本社住所	〒808-0021	福岡県北九州市若松区響町一丁目 62 番 19		
資本金、出資金	40,000 千円			
従業員数	8 人			
設立年月日	平成 13 年			
URL	<a href="http://www.nishi-pr.co.jp">http://www.nishi-pr.co.jp</a>			
事業概要	古紙の有効利用を目的に、九州の大手古紙問屋の共同出資により設立。製紙原料の製造販売はもとより、古紙を原料とした新規用途製品（古紙破砕物）の製造販売、および機密文書処理を行っています。			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名			
	担当者名	吉田 正光		
	連絡先	電話番号	093-751-8315	
		FAX	093-752-6073	
E メールアドレス		info@nishi-pr.co.jp		

22.13.2 技術情報(1)

キーワード	古紙、新規用途、あんしん君、ボンファイバー、家畜用敷料、汚泥処理、新聞、雑誌、段ボール			
技術名称	古紙破砕物製造			
技術の分類	破砕・選別			
目的・用途	古紙破砕物は家畜用敷料「あんしん君」またはボンテラン工法の汚泥処理助材「ボンファイバー」等、新規用途として使われています。			
特長	古紙を約1cm程度に破砕しており、水分吸収が良く、分解発酵が容易です。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	古紙	受入条件、形状	新聞古紙・雑誌古紙等
	有償	古紙	受入条件、形状	新聞古紙・雑誌古紙等
供給資源・製品	あんしん君		形状	80cm×80cm×120cm べール品(250kg 前後)
	ボンファイバー(ボンテラン工法)		形状	80cm×80cm×120cm べール品(250kg 前後)
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	古紙全般(機密書類を除く)、排出量と品質によっては、有価買取いたします。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	【あんしん君】家畜用敷料として一般的に利用されているオガクズと比較して水分吸収がよく、紙は難分解物質リグニンの含有量が少ないため分解発酵が早い。 【ボンファイバー】ヘドロや高含水汚泥を改良土壌として再利用。改良土は強度特性に優れた土壌として有効利用できる。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	ボンテラン工法:リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞(平成14年) 国土技術開発賞(平成19年) 国土交通大臣賞(平成20年) その他多数受賞実績あり	

22.13.3 技術情報(2)

キーワード	古紙、製紙原料、新聞、雑誌、段ボール、難古紙、その他古紙			
技術名称	古紙減容・圧縮			
技術の分類	減容・圧縮			
目的・用途	製紙原料として			
特長	製紙メーカーが、製紙原料として利用し易いように選別し品種毎に圧縮しています。			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	古紙	受入条件、形状	異物混入が極力ないこと
	一廃・産廃	古紙	受入条件、形状	異物混入が極力ないこと
供給資源・製品	製紙原料		形状	100cm × 100cm × 150cm べール品(1,000 kg前後)
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	古紙全般(機密書類を除く)、排出量と品質によっては、有価買取いたします。	
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	製紙原料として安定供給します。	

## 22.13.4 実績情報

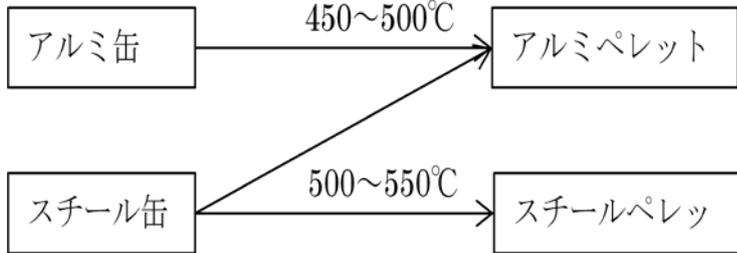
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	古紙	非公開	非公開	t
	機密文書	非公開	非公開	t
受入可能量	古紙	-	非公開	t
販売実績量の推移	製紙原料	非公開	非公開	t
	古紙破砕物	非公開	非公開	t
主な調達先	北九州市内の企業および官公庁、古紙問屋等			
主な供給先	王子製紙・日本製紙・古紙問屋・JA 等			

## 22.14 (株)北九州空き缶リサイクルステーション

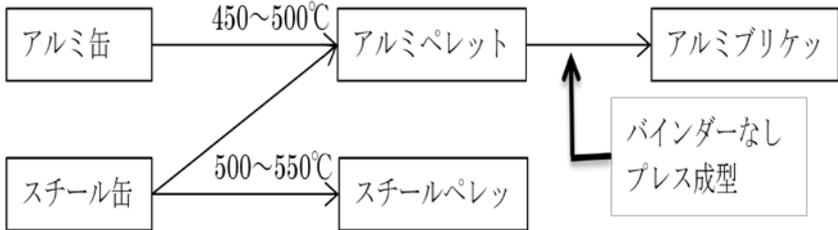
### 22.14.1 事業者情報

名 称	(株)北九州空き缶リサイクルステーション			
本社住所	〒808-0021			
資本金、出資金	68,000 千円			
従業員数	10 人			
設立年月日	平成 12 年			
URL	<a href="http://www.k-ars.co.jp">http://www.k-ars.co.jp</a>			
事業概要	空き缶の高度リサイクル			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名			
	担当者名	三宅 憲一		
	連絡先	電話番号	093-752-5033	
		FAX	093-752-5055	
E メールアドレス		info@k-ars.co.jp		

22.14.2 技術情報(1)

キーワード	脱酸材、冷却材			
技術名称	空き缶の高度リサイクル技術			
技術の分類	加工・成型(再生品化)			
目的・用途	高炉・電炉メーカーへ脱酸材・冷却材として販売			
特長	空き缶を原料に、高歩留り・少化石燃料で加工された商品			
設備、製品等の写真、イメージ	 <p style="text-align: center;">スチールペレット                      アルミペレット</p>			
処理フロー図	 <pre> graph LR     A[アルミ缶] -- "450~500°C" --&gt; B[アルミペレット]     C[スチール缶] -- "500~550°C" --&gt; D[スチールペレット]     </pre>			
廃棄物の種類	有償	その他金属くず (品目:アルミ缶)	受入条件、形状	ソフトプレス、バラ
	有償	その他金属くず (品目:スチール缶)	受入条件、形状	ソフトプレス、バラ
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	有価買取	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	脱酸塊に比べて安価	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	毎年 3,000 名以上の施設見学者あり 北九州エコプレミアム選定商品	

22.14.3 技術情報(2)

キーワード	脱酸材		
技術名称	ブリケット化技術		
技術の分類	加工・成型(再生品化)		
目的・用途	高炉メーカーへ脱酸材として販売		
特長	脱酸材であるアルミペレットと脱酸塊の中間に位置する商品(比重、ハンドリング)		
設備等の写真	 <p>アルミブリケット</p>		
処理フロー図			
供給資源・製品	アルミブリケット	形状	4 cm程度角の立方体 60~70g/個
アピールポイント	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	脱酸塊に比べて安価 アルミペレットの比重の軽さを克服
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	北九州エコプレミアム選定商品

22.14.4 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	スチール缶	10,650	6,901	t
	アルミ缶	5,326	5,718	t
販売実績量の推移	スチールペレット	5,678	5,323	t
	アルミペレット	4,808	5,166	t
	アルミブリケット	0	91	t
主な調達先	金属スクラップ業、非鉄金属スクラップ業、産業廃棄物処理業、商社			
主な供給先	高炉メーカー、電炉メーカー、アルミニウム二次合金メーカー			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	アルミブリケットの開発に取り組み、商品化を実現した。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	100,916 千円 内訳 アルミブリケット開発 77,035 千円 その他 23,881 千円			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	アルミペレットを韓国へ輸出(H23 年度～)			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 21 年度 ものづくり中小企業製品開発支援補助金			

22.15 コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社 （北九州さわやかリサイクルセンター）

22.15.1 企業情報

名 称	コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社（北九州さわやかリサイクルセンター）			
本社住所	〒811-3125	福岡県古賀市谷山 871 番地 （北九州さわやかリサイクルセンター：福岡県北九州市若松区響町 1-105-16）		
資本金、出資金	22,350 千円			
従業員数	800 人（北九州さわやかリサイクルセンター：30 人）			
設立年月日	昭和 47 年（北九州さわやかリサイクルセンター：平成 15 年）			
URL	<a href="http://www.ccwest.co.jp/">http://www.ccwest.co.jp/</a>			
事業概要	<p>■缶・ビン・PET ボトルのリサイクル部門 【圧縮】コカ・コーラウエスト株式会社の事業所から排出される廃プラスチック類、金属くずを選別後、圧縮し、売却する。 【破碎】コカ・コーラウエスト株式会社の事業所から排出されるガラスくずを破碎し、最終処分を委託する。</p> <p>■廃棄自販機のリサイクル部門 【圧縮】コカ・コーラウエスト株式会社の事業所から排出される廃棄自動販売機を圧縮し、売却する。</p>			
事業所写真	空容器処理施設 		廃棄自販機処理施設 	
問合せ先窓口	部署名	機器管理部 北九州さわやかリサイクルセンター		
	担当者名	川本 祥平		
	連絡先	電話番号	093-752-1881	
		FAX	093-752-1884	
E メールアドレス	shouhei-kawamoto@ccwest.co.jp			

22.15.2 技術情報(1)

キーワード	空容器			
技術名称	選別/圧縮			
技術の分類	破碎・選別 減容・圧縮			
目的・用途	自動販売機横の回収ボックスから自社回収した使用済空容器を中間処理し、売却する。			
特長	コカ・コーラウエストグループをあげて循環型社会の実現に取り組んでおり、事業所から排出されるも廃棄物をリサイクルする施設をグループ自ら有している点。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	<p>処理方式</p> <pre>         graph TD             A[受入ホッパにショベルで ビニール袋入りの 廃プラスチック類・金属くずを投入] --&gt; B[供給コンベヤで運ばれ、 破集袋機でビニール袋が破られる]             B --&gt; C[破られた袋は、外部へ処理委託]             B --&gt; D[その後、磁選コンベヤで、 磁選機によりスチール缶（金属くず）が選別され、 圧縮機で圧縮処理 機械型番：WFP1-30]             D --&gt; E[その後、手選別コンベヤで、 手選別によりペット（廃プラスチック類）が選別され、 圧縮機で圧縮処理 機械型番：YB-40P-A-31]             E --&gt; F[その後、手選別コンベヤで、 手選別により樽（ガラスくず）が選別され、 破碎機で破碎処理される 機械型番：T-5]             F --&gt; G[その後、手選別コンベヤで、 最後に残ったアルミ缶（金属くず）が選別機で選別され、 圧縮機で圧縮 機械型番：WFP1-15]             </pre>			
廃棄物の種類	産廃	PETボトル	受入条件、形状	固形状
	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	固形状
	産廃	その他金属くず (品目：スチール缶、アルミ缶)	受入条件、形状	固形状
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	固形状

アピールポイント	廃棄物等 排出者側 のメリット	例) 処理料金、買 取料金、環境負荷 削減効果、等	コカ・コーラウエストグループは、これからの環境問題の解決には企業が大きな責任・役割を果たす必要があると考え、2003年10月、北九州エコタウン地区に空容器の再資源化を推進するためのリサイクル施設「北九州さわやかリサイクルセンター」を建設し、運営を開始いたしました。これは、循環型社会の実現に向けた取り組みの一步であると考えています。
	その他	例) 受賞歴、施設 見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年、北九州市より「産業廃棄物処理業優良業者」選定</li> <li>・平成23年、国より「平成23年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」受賞</li> <li>・平成25年、福岡県より「平成24年度ゼロエミッション推進処理事業者知事表彰」受賞</li> </ul>

### 22.15.3 技術情報(2)

キーワード	廃棄自動販売機
技術名称	圧縮
技術の分類	減容・圧縮
目的・用途	老朽化や損傷により使用不能となった販売機器を中間処理し、売却する。
特長	コカ・コーラウエストグループをあげて循環型社会の実現に取り組んでおり、自販機は飲料ビジネスに直結するものであるが、その廃棄に至るまで処理する施設をグループ自ら有している点。
設備等の写真	
処理フロー図	<p>圧縮施設 処理方式</p> <pre> graph TD     A[廃棄自販機を受け入れ、フロンガスを回収する] --&gt; B[フロンガスは処理を委託]     A --&gt; C[手作業で廃棄自販機の解体を行い、コンデンサーや配線・機番などの有価物を取り除く。]     B --&gt; D[コンデンサーや配線・機番などの有価物は売却する。]     C --&gt; E[廃棄自販機をリフトでプレス機に投入し、圧縮し、売却する。]     E --&gt; F[ガラスくず(廃蛍光灯)は処理を委託]     </pre> <p>機械型番: KSP-290AS(R)</p>

廃棄物の種類	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	固形状
	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	固形状
	産廃	その他金属くず(品目:自販機本体)	受入条件、形状	固形状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	コカ・コーラウエストグループは、2003年、北九州エコタウン地区に空容器の再資源化を推進するためのリサイクル施設の運営開始をしておりましたが、同事業所を拡張して2008年、廃棄自販機の自社処理施設を新たに開設しました。循環型社会の実現に向けての取り組みを重ねております。	
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	廃棄自販機リサイクル施設への見学者受入 ・平成23年:457名 ・平成24年:712名 ・平成25年:733名 平成23年、北九州市より、見学者を積極的に受け入れているとされ「感謝状」をいただきました。	

#### 22.15.4 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	空容器	7,177	5,663	t
	廃棄自販機	0	4,256	t
受入可能量	廃プラスチック類	-	7,860	t
	金属くず	-	19,380	t
	ガラスくず	-	9,012	t
販売実績量の推移	PET	1,176	1,065	t
	アルミ/スチール他	3,365	6,818	t
主な調達先	コカ・コーラウエストグループの事業所 空容器部門:福岡県/佐賀県/山口県の事業所 廃棄自販機部門:北部九州地方/中国地方の事業所(H26年より南部九州地方の事業所を追加予定)			
主な供給先	非公開			

## 22.16 株式会社アンカーネットワークサービス

### 22.16.1 事業者情報

※ 技術情報、実績情報なし

名 称	株式会社アンカーネットワークサービス			
本社住所	〒 125-0051	東京都葛飾区新宿 3 丁目 9 番 15 号		
資本金、出資金	43,800 千円			
従業員数	146 人 (2013 年 5 月現在)			
設立年月日	1993 年 5 月			
URL	<a href="http://www.anchor-net.co.jp/">http://www.anchor-net.co.jp/</a>			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン、複合機、ネットワーク機器などの買取及び販売</li> <li>・データ消去サービス</li> <li>・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理</li> <li>・リサイクル PC 等の販売</li> <li>・OA 機器の手解体によるマテリアル処理</li> </ul>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名			
	担当者名			
	連絡先	電話番号		
		FAX		
E メールアドレス				

## 22.17 光和精鉱株式会社

### 22.17.1 事業者情報

名 称	光和精鉱株式会社			
本社住所	〒804-0002	福岡県北九州市戸畑区大字中原 46-93		
資本金、出資金	10 億円			
従業員数	150 人			
設立年月日	1961/2/10			
URL	<a href="http://www.kowa-seiko.co.jp/">http://www.kowa-seiko.co.jp/</a>			
事業概要	<p>○製鉄ダストのリサイクル ～          新日鐵住金(株)八幡製鐵所で発生する製鉄ダストを処理(=「塩化揮発による不純物元素の除去」と「成型・焼成」)し、製鉄ペレットとして再資源化</p> <p>○各種廃棄物の処理 ～          上記の処理プロセスの中で、各種の廃棄物を処理(=「廃油による燃料油の代替 等の廃棄物による原燃料の代替」や「含塩素廃棄物を塩化揮発の塩素源として活用 等の補助材料化」により、廃棄物を有効活用しつつ処理)を実施し、「要埋め立て残渣を生じないゼロエミッション」の廃棄物処理を実現。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	戸塚 司		
	連絡先	電話番号	093-872-2100	
		FAX	093-884-0666	
E メールアドレス		totsuka@kowa-seiko.co.hjp		

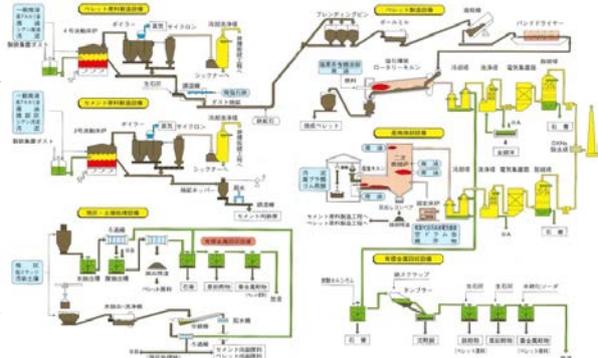
22.17.2 技術情報(1)

キーワード	製鉄ダスト, リサイクル, 塩化揮発			
技術名称	製鉄ペレットの製造			
技術の分類	加工・成型(再生品化)			
目的・用途	製鉄ダストのリサイクル			
特長	塩化揮発法により、不純物除去と成型・焼成を実施			
設備、製品等の写真、イメージ	 <span style="margin-left: 20px;">ペレットキルン</span>  <span style="margin-left: 20px;">製鉄ペレット</span>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	製鉄ダスト	受入条件、形状	高炉集塵ダスト
供給資源・製品	製鉄ペレット		形状	10mm φ
アピールポイント	<p>廃棄物等排出者側のメリット</p> <p>例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</p>	<p>製品購入者側のメリット</p> <p>例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等</p>	<p>八幡製鐵所より原料となる製鉄ダストを購入し、生産した製鉄ペレットは八幡製鐵所に販売する。八幡製鐵所にとっては、「貴重な鉄原を社外に流出させる事無く、自社の原料として再利用できる。」、「高不純物・粉状で使用困難な製鉄ダストが、低不純物・球形の製鉄ペレットに加工される事により、高炉原料として使用可能となる。」等の点で、メリットがある。また、除去した製鉄ダスト中の不純物元素(Zn, Pb等)についても、回収して非鉄精錬会社に非鉄金属原料として販売・活用している。製鉄ダストに含まれる炭素分(コークス粉由来)も、焼却熱で蒸気を作る事で熱回収している。マテリアルリサイクル, サーマルリサイクルで総合的なリサイクルを実現している。</p>	

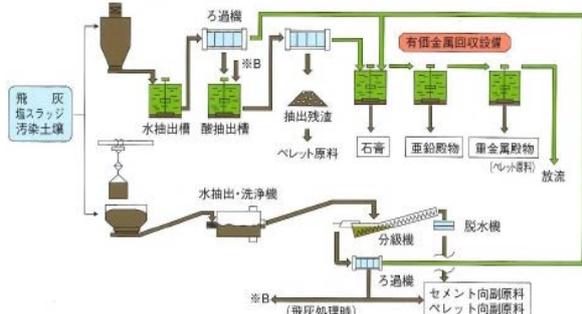
22.17.3 技術情報(2)

キーワード	廃棄物, リサイクル, セメント原料		
技術名称	セメント焼鉱の製造		
技術の分類	加工・成型(再生品化)		
目的・用途	廃棄物中の鉄分をセメント原料として有効活用		
特長	流動焙焼炉を使用した焙焼処理		
設備等の写真			
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	各種産業廃棄物	受入条件、形状
供給資源・製品	セメント焼鉱		形状 粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	金属元素も含有する廃棄物では、埋め立て処理する場合には不溶化処理で処理費が高くなる。当社で処理する場合には、そうした手間やコストを必要としなくなる。
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	セメント焼鉱を購入するセメント会社にとっては、「セメント原料の一つとして必要な鉄分の、長期的・安定的な供給源が確保できる。」という点でメリットがある。

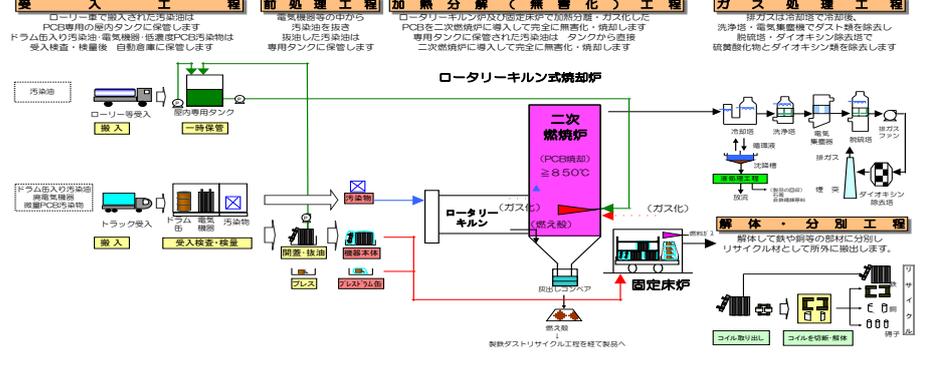
22.17.4 技術情報(3)

キーワード	廃棄物, 焼却, 再資源化, ゼロエミッション		
技術名称	産業廃棄物の処理		
技術の分類	有害廃棄物処理		
目的・用途	各種の産業廃棄物の処理		
特長	ゼロエミッション(=要埋立て残渣無し), 高塩素含有物等の難処理物の処理にも対応		
設備等の写真	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">産廃炉</div>		
処理フロー図	<p>産廃炉を中核に、処理を実施。項目名に青枠かけているのが廃棄物で、その性格に応じた工程にて処理を実施する。</p> 		
廃棄物の種類	一廃・産廃	汚泥, ASR, 燃え殻, 飛灰	受入条件、形状
	産廃	廃油, 廃アルカリ, 廃酸	受入条件、形状
	産廃	その他の各種廃棄物	受入条件、形状
供給資源・製品	水酸化亜鉛		形状 粉状
	銅滓		形状 粉状
	石膏		形状 粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	塩化揮発を中核とした処理工程で処理するため、難処理物(～高ハロゲン物を含めた多様な難処理物)に対応でき、且つ、ゼロエミッションでその処理が出来る。

22.17.5 技術情報(4)

キーワード	熔融飛灰, 処理, 再資源化			
技術名称	熔融飛灰の処理			
技術の分類	有害廃棄物処理			
目的・用途	熔融飛灰の処理			
特長	北九州モデルに基づく熔融飛灰の処理と再資源化を実施			
設備等の写真				
処理フロー図	<p>右図の工程で、飛灰中の可溶成分（Zn等）を除去・回収。可溶成分除去後の飛灰は、ペレット製造工程の原料の一つに利用。</p> 			
廃棄物の種類	一廃・産廃	熔融飛灰(ばいじん類)	受入条件、形状	粉状
供給資源・製品	水酸化亜鉛		形状	粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<p>熔融飛灰には金属・重金属が濃化しやすい特性があり、それを埋め立て処理する場合には、キレート処理等の不溶化処理が必要である。当社にて処理する場合には、その手間・コストが不要となると共に、濃化した金属(亜鉛等)を再資源化して活用する事も可能となる。</p>	

22.17.6 技術情報(5)

キーワード	低濃度PCB汚染物, 無害化, 処理, 焼却			
技術名称	低濃度PCB汚染物の処理			
技術の分類	有害廃棄物処理			
目的・用途	低濃度PCB汚染物の処理			
特長	解体分別設備等を有し、「絶縁油が入ったトランス」等の他社で対応不能な物にも対応可能			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	低濃度PCB汚染物	受入条件、形状	トランス, コンデンサ等で各種の形状あり
	産廃	低濃度PCB汚染油	受入条件、形状	絶縁油(液状)
供給資源・製品	鉄スクラップ		形状	塊状
供給資源・製品	アルミスクラップ		形状	塊状
供給資源・製品	銅スクラップ		形状	塊状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	PCB汚染物の処理	

## 22.17.7 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥	32,246	27,620	Ton
	廃油	39,452	30,467	Ton
	廃酸	40,206	35,227	Ton
	廃アルカリ	60,262	54,978	Ton
	その他の各種廃棄物	28,050	20,737	Ton
販売実績量の推移	製鉄ペレット	116,827	116,975	Ton(Dry)
	セメント焼鉱	33,167	12,051	Ton(Dry)
	水酸化亜鉛	3,852	3,376	Ton(Dry)
	銅滓・金銀滓	975	591	Ton(Dry)
	その他(石膏 等)			Ton(Dry)
主な調達先	<p>主要な原燃料の調達先は新日鐵住金(株)八幡製鐵所〔製鉄ダスト, LD G〕。副資材(排水処理の石灰・炭酸カルシウム など)については、省略。</p>			
主な供給先	<p>当社の業である製鉄ダストのリサイクル, 及び, 廃棄物(産廃, 一廃)の処理を通じて生産・回収した製鉄ペレット, 蒸気, セメント焼鉱, 水酸化亜鉛, 銅滓, 石膏 等については、製鉄業, 非鉄製錬業, セメントへ向けて出荷・販売しています。</p>			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	<p>製鉄ダストの処理について長年の研究実績があります。</p>			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	<p>年間約 10 億円程度の設備投資を行っています。</p>			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	<p>当社事業としての海外展開は実施していません。</p>			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	<p>グリーンニューディール事業の補助金を受けております。</p>			

## 22.18 楽しい株式会社

### 22.18.1 事業者情報

名 称	楽しい株式会社			
本社住所	〒808-0002	北九州市若松区向洋町 10-1 北九州エコタウン実証研究エリア内		
資本金、出資金	35,000 千円			
従業員数	8 人			
設立年月日	平成 13 年			
URL	<a href="http://www.fun-c.jp">http://www.fun-c.jp</a>			
事業概要	<p>●北九州エコタウン発 廃棄物とバイオマスの新資源化システムの提案            ★食品廃棄物の新資源化システム            ★可燃ごみ・バイオマス等の熱分解炭化技術            ★廃プラスチック・廃食用油・バイオマス等の接触分解油化技術</p> <p>●本格循環いも焼酎「明月五良」の企画・販売</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	メリーズシステム事業部		
	担当者名	松尾隆貴		
	連絡先	電話番号	093-752-5300	
		FAX	093-752-5303	
E メールアドレス		ceres@fun-c.jp		

22.18.2 技術情報(1)

キーワード	生ごみ、バイオマス、廃棄物処理、堆肥、装置、システム		
技術名称	生ごみリサイクルシステム「メリーズシステム」		
技術の分類	堆肥、液体肥料化		
目的・用途	自治体および事業系食品廃棄物のリサイクル		
特長	1日あたり数10kgから5トン未満の小規模分散型の、生ごみリサイクルシステムを全国400拠点に展開中。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	有償	動物性残さ	メリーズシステムに参加事業所で当社で回収のみ
供給資源・製品	食品残渣堆肥		形状 ばら、10kg等のポリ袋詰
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	通常の一般廃棄物収集運搬委託契約に比べて、処理料金、CO2排出量、衛生面等、改善される可能性が十分にあります。 生ごみ処理装置を購入する方法のほか、生ごみ処理装置と包括メンテナンスを含めたレンタルサービスも、選択して頂けます。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	化学肥料を使わず、安全・安心な農作物の生産が可能。 一般的な生ごみ堆肥と比べ、塩分・油脂分が1/5以下の安全・安心な堆肥です。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	平成16年 北九州市環境賞奨励賞受賞 平成20年 セレス竹割り箸が洞爺湖サミットに40万膳採用 平成20年 ハイ・サービス日本300選に選定 平成25年 第3回北九州オンリーワン企業(特別賞)に認定

22.18.3 技術情報(2)

キーワード	プラスチック、木質、バイオマス、廃棄物処理、燃料、装置、システム			
技術名称	プラスチック・木質バイオマス等の油化システム			
技術の分類	油化・ガス化・コークス炉原料化			
目的・用途	廃プラスチック、木質バイオマス等を原料に石油燃料(石油代替燃料)にリサイクル			
特長	ミックスプラスチックや、木質バイオマスが、1 台の装置で油化リサイクル可能			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	ばら他
	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	ばら他
	一廃・産廃	その他(廃食用油)	受入条件、形状	ばら他
供給資源・製品	石油(石油代替)燃料(灯油、軽油、A重油相当)		形状	油脂
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	プラスチック等の廃棄物を石油燃料(石油代替燃料)にして、出来た燃料を使用することができます。	

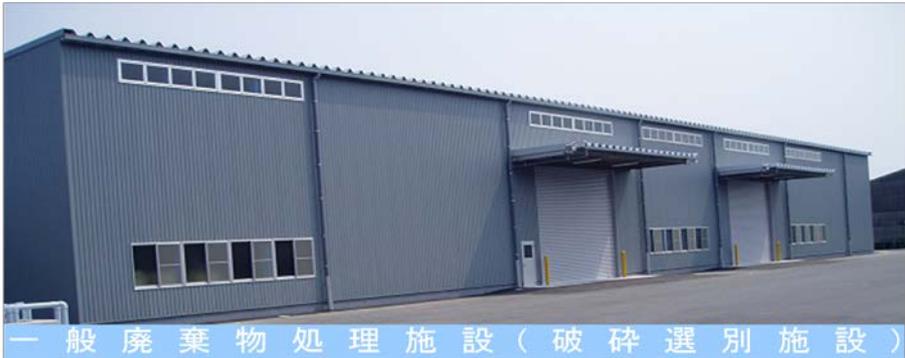
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	石油燃料(石油代替燃料)を使用することで、バージン石油の使用量の削減ができるので、環境負荷低減と石油購入量の低減ができます。
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	平成 16 年 北九州市環境賞奨励賞受賞 平成 20 年 セレス竹割り箸が洞爺湖サミットに 40 万膳採用 平成 20 年 ハイ・サービス日本 300 選に選定 平成 25 年 第 3 回北九州オンリーワン企業(特別賞)に認定

#### 22.18.4 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	事業系食品廃棄物	-	-	
受入可能量	事業系食品廃棄物	-	-	
販売実績量の推移	食品残渣堆肥	-	-	
主な調達先	自治体、病院、レストラン、老人ホーム、カット野菜工場ほか			
主な供給先	農家			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	平成 23 年度 北九州市環境未来技術開発助成事業にて、若松西海岸の事業所 9 か所の、廃プラスチック、生ごみ、割りばし、廃食用油の回収と、堆肥化、油化、出来た堆肥と油は、ビニールハウスの堆肥と暖房用燃料に使用。			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	平成 23, 24, 25 年度に、中国無錫(むしゃく)市へ、生ごみの堆肥化装置と、プラスチックの油化装置を、外務省無償資金協力にて、装置と変換技術を提供。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 17, 18, 19 年度 北九州市環境未来技術開発助成事業 平成 23 年度 北九州市環境未来技術開発助成事業			
その他実績	平成 16 年 北九州市環境賞奨励賞受賞 平成 20 年 セレス竹割り箸が洞爺湖サミットに 40 万膳採用 平成 19, 20 年 経済産業省グリーンサービスサイジング事業の受託 平成 20 年 ハイ・サービス日本 300 選に選定 平成 20 年 環境省主催 ふくおか減 CO2 大作戦 2008(最優秀賞)同全国大会(特別賞、環境大臣表彰)受賞 平成 25 年 第 3 回北九州オンリーワン企業(特別賞)に認定			

## 22.19 株式会社イマナガ

### 22.19.1 事業者情報

名 称	株式会社イマナガ			
本社住所	〒800-0115	北九州市門司区新門司 3 丁目 38 番 2 号		
資本金、出資金	50,000 千円			
従業員数	48 人			
設立年月日	昭 50 年 7 月 20 日			
URL	<a href="http://imanaga-r.co.jp/">http://imanaga-r.co.jp/</a>			
事業概要	<p>廃プラスチックのペレット化(マテリアルリサイクル化)          一般家庭から排出されるプラスチック製容器包装や産業廃棄物等から排出されるプラスチックを、焼却処分などの処理を行うのではなく樹脂原料に戻せるプラスチックを樹脂原料(マテリアルリサイクル化)に戻し資源の枯渇に努めています。          樹脂原料に戻せないプラスチックは石炭やコークスなどの代わり(ケミカルリサイクル、サーマルリサイクル化)として使用しています。</p>			
事業所写真	 <p>一般廃棄物処理施設(破碎選別施設)</p>			
問合せ先窓口	部署名	資源開発グループ		
	担当者名	今永良二		
	連絡先	電話番号	093-481-5097	
		FAX	093-481-5098	
E メールアドレス		info@imanaga-r.co.jp		

22.19.2 技術情報

技術名称	容器包装リサイクル再商品化			
技術の分類	容器包装リサイクル再商品化事業（その他プラ）			
目的・用途	埋立てや焼却されていたプラスチックを出来る限り再度樹脂製品として利用し、ハンガーや輸送用パレット及び建材等の材料として使用されています。			
特長	一般家庭より排出された容器包装プラスチック（PETボトル以外）を選別・破碎・洗浄・造粒を行ってプラスチックの原料となるペレットの製造を行っています。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	容器包装リサイクル品
供給資源・製品	ハンガー、パレット、建材		形状	ペレット化、インゴット化
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	埋立てや単純焼却を行わず弊社にて樹脂原料に戻せる材質（PE、PP、PSトレイ）は出来る限り樹脂原料に戻し、弊社にて樹脂原料に戻せないプラスチックに関してもサーマルリサイクルやケミカルリサイクル等を行い資源の枯渇やCO2の削減に努めています。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等		
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	工場見学人数: 約 200~300 人/年	

22.19.3 実績情報

品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
-----	----------	----------	----

処理実績量の推移	プラスチック	非公開	非公開	t
受入可能量	プラスチック	-	非公開	t
販売実績量の推移	ペレット、インゴット	非公開	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
技術開発の実績 (過去5年間)	非公開			
設備投資の実績 (過去5年間)	非公開			

## 22.20 アミタ株式会社

### 22.20.1 事業者情報

名 称	アミタ株式会社			
本社住所	〒102-0073	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号 メヂカルフレンドビル 2 階		
資本金、出資金	473,239 千円			
従業員数	158 名(アミタグループ連結)(2014 年 1 月 1 日現在)			
設立年月日	1977 年 4 月 1 日			
URL	<a href="http://www.amita-net.co.jp/">http://www.amita-net.co.jp/</a>			
事業概要	<p>総合環境ソリューションの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物再資源化サービス</li> <li>・環境管理業務支援サービス</li> <li>・環境・CSR マーケティング支援サービス 等</li> </ul>			
事業所写真	<p><a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/kitakyushu.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/kitakyushu.html</a></p> 			
問合せ先窓口	部署名	コミュニケーション戦略グループ 共感資本チーム		
	担当者名	広報担当(蝦名 裕一郎)		
	連絡先	電話番号	075-277-0795	
		FAX	075-255-4527	
E メールアドレス		press@amita-net.co.jp		

22.20.2 技術情報

キーワード	持続可能社会の実現、100%再資源化、廃棄物処理			
技術名称	産業廃棄物を原料とした循環資源の製造			
技術の分類	その他(調査)			
目的・用途	独自の技術で混錬、調合(調整・混合)を行い、セメント原料化や金属原料化			
特長	単体では再資源化困難な発生品(廃棄物)を調合し、再資源化可能な循環資源としてユーザーに提供しております。 <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/">http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/</a>			
設備、製品等の写真、イメージ	セメント原料系： <a href="http://www.amita-net.co.jp/images/prod2.jpg">http://www.amita-net.co.jp/images/prod2.jpg</a> セメント燃料系： <a href="http://www.amita-net.co.jp/images/prod3.jpg">http://www.amita-net.co.jp/images/prod3.jpg</a> 特殊鋼原料(Ni、Cr)： <a href="http://www.amita-net.co.jp/images/prod4.jpg">http://www.amita-net.co.jp/images/prod4.jpg</a> 金属原料(Cu)： <a href="http://www.amita-net.co.jp/images/prod5.jpg">http://www.amita-net.co.jp/images/prod5.jpg</a>  説明ページ： <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/products-listing.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/products-listing.html</a>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	燃え殻、污泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず、鉱さい、ダスト類、全 11 種類	受入条件、形状	成分、性状により判定。
			受入条件、形状	
供給資源・製品	セメント原料 燃料系	形状	泥状	
	セメント原料 原料系	形状	泥状	
	金属原料 Ni-Cr 系	形状	泥状	
	金属原料 Cu 系	形状	泥状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	<p>例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100%再資源化、副次的に発生する廃棄物が存在しない。</li> <li>・単体では再資源化が難しい廃棄物も調合によって再資源化できる可能性が高い</li> <li>・100%再資源化のため将来的な廃棄物の残存リスクがない。</li> </ul> <p>埋め立てリスク:  <a href="http://www.amita-oshiete.jp/qa/entry/001818.php">http://www.amita-oshiete.jp/qa/entry/001818.php</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100%再資源化のため、再資源化率の計算がしやすい</li> <li>・港湾を使った海運中心のため、輸送コストと重量ベースで輸送時二酸化炭素が陸送と比べて低い</li> <li>・アマタ株式会社はジャスダック上場企業であるアマタホールディングス株式会社の100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。</li> </ul> <p><a href="http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html">http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・安全・地域貢献:  <a href="http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf">http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf</a></li> </ul> <p>※～全国5つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001認証取得を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路、京丹後、茨城の製造所は優良認定許可取得済みです。(川崎、北九州は5年経過後申請予定)</li> <li>・企業環境担当者様向けの無料・有料のソフトサービスも充実しています。<a href="http://www.amita-net.co.jp/management/">http://www.amita-net.co.jp/management/</a></li> <li>・自社で受入不可能な廃棄物も再資源化ネットワークを駆使して受け入れ先を見つけます。  <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/network.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/network.html</a></li> </ul>
	製品購入者側のメリット	<p>例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定品質、物量の安定した副原料の活用。</li> <li>・化石燃料の使用量削減</li> <li>・コスト削減、収益の改善</li> <li>・アマタ株式会社はジャスダック上場企業であるアマタホールディングス株式会社の100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。</li> </ul> <p><a href="http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html">http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・安全・地域貢献:  <a href="http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf">http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf</a></li> </ul> <p>※～全国5つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001認証取得を実現</p>
	その他	<p>例) 受賞歴、施設見学受入者数、等</p>	<p>見学実績:2013年:91団体 152名  マレーシア環境局等海外の受入実績多数  <a href="http://www.amita-hd.co.jp/news/post_1061.html">http://www.amita-hd.co.jp/news/post_1061.html</a></p>

22.20.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥	未稼働	非公開	t
	燃え殻	未稼働	非公開	t
	廃油	未稼働	非公開	t
	廃プラスチック類	未稼働	非公開	t
	ばいじん	未稼働	非公開	t
	木くず	未稼働	非公開	t
	動植物性残さ	未稼働	非公開	t
	ガラスくず	未稼働	非公開	t
	鋳さい	未稼働	非公開	t
受入可能量	400 m <sup>3</sup> /日	③産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の種類、 ④処理能力 燃え殻 79.8t/1日(8時間) 汚泥 312m <sup>3</sup> /日(8時間) 廃油 70m <sup>3</sup> /日(8時間) 廃プラスチック類 77t/日(8時間) 紙くず 5.4t/日(8時間) 木くず 9.9t/日(8時間) 動植物性残渣 18t/日(8時間) 金属くず 79.1t/日(8時間) ガラスくず 70t/日(8時間) 鋳さい 135t/日(8時間) ダスト類 88.2t/日(8時間)		
		■開示情報 <a href="http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u5.php?Param1=8&amp;Param2=60035&amp;Param0=&amp;menu=2">http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u5.php?Param1=8&amp;Param2=60035&amp;Param0=&amp;menu=2</a>		
出荷実績量の推移	セメント原料系	未稼働	283	t
	セメント燃料系	未稼働	15,351	t
	特殊鋼原料	未稼働	220	t
	<a href="http://www.amita-net.co.jp/pdf/performance.pdf">http://www.amita-net.co.jp/pdf/performance.pdf</a>	未稼働		

主な調達先	化学、電気、鉄鋼、製紙、精密機器等、各業種
主な供給先	セメント・非鉄・鉄鋼メーカー
技術開発の実績 (過去 5 年間)	非公開
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開
海外展開の実績 (過去 5 年間)	<p>海外からの研修、見学を積極的に受入。事業展開も検討中。 1980 年代から海外事業を展開しており、産物(有価物)、廃棄物を原料として捉えた輸出入の取り引きのほか、一部の国ではセメント代替燃料に関する特許をライセンスしました。</p> <p>▼取引実績国 台湾／韓国／中国／ロシア／フィリピン／シンガポール／インドネシア／マレーシア／タイ／アメリカ等</p> <p>▼海外オフィスと現地法人 韓国には 1991 年にオフィスを開設し、2011 年には台湾に現地法人を設立しました。台湾では、太陽電池の製造工程で排出される廃棄物の再資源化施設を、台南市にて計画しています。 <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/global.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/global.html</a></p> <p>2014 年は台湾における再資源化プラントの設置・稼働準備およびマレーシアでの再資源化事業検討など、急成長する海外市場の開拓を推進します。 <a href="http://www.amita-hd.co.jp/news/2014_1.html">http://www.amita-hd.co.jp/news/2014_1.html</a></p>
補助金等支援策の活用実績 (過去 5 年間)	非公開
その他実績	<p>■受賞歴 第 9 回エコプロダクツ大賞優秀賞(2012 年) グッドデザイン賞(2001 年) 資源循環技術・システム表彰 CJC 会長賞(1996 年)他。 <a href="http://www.amita-hd.co.jp/company/award.html">http://www.amita-hd.co.jp/company/award.html</a></p> <p>■再資源化実績・取扱品目： <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/performance.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/performance.html</a></p>

## 22.21 株式会社エヌエスウインドパワーひびき

### 22.21.1 事業者情報

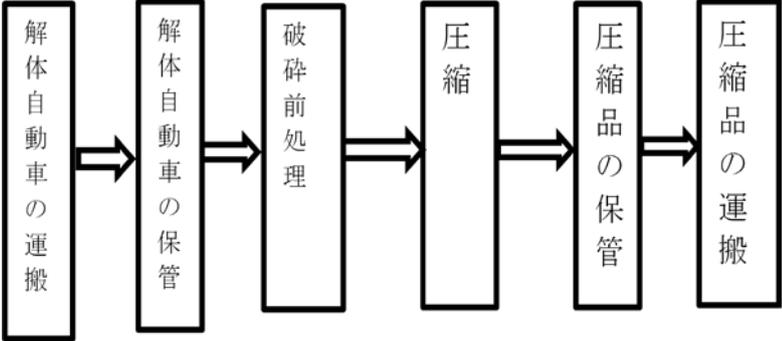
名 称	株式会社エヌエスウインドパワーひびき			
本社住所	〒808-0002			
資本金、出資金	100,000 千円			
従業員数	2 人			
設立年月日	平成 14 年 3 月 15 日			
URL	http://			
事業概要	<p>響灘に面する、日本初の港湾地区における風力発電事業          発電規模は、総出力15,000kW(定格出力1,500kWの発電機を10基設置)          発生電力は、連系用変電所(66kV、17MVA)を經由して全て九州電力様に売電</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	響灘風力発電所		
	担当者名	松崎 出		
	連絡先	電話番号	093-752-1803	
		FAX	093-752-1859	
Eメールアドレス		<a href="mailto:matsuzaki.izuru@nesc.jp">matsuzaki.izuru@nesc.jp</a>		

## 22.22 北九州 ELV 協同組合

### 22.22.1 事業者情報

名 称	北九州 ELV 協同組合			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町 1 丁目 62 番地 25		
資本金、出資金	1,100 千円			
従業員数	7 人(組合員数)			
設立年月日	平成 17 年			
URL	http://			
事業概要	<p>・廃自動車を購入し解体して中古パーツやエンジン等を外し 共同処理場に設置したプレス機で車輻本体部分を サイコロ型にプレスして鉄工会社等に販売する。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	北九州 ELV 協同組合事務局		
	担当者名	舌間 宗俊		
	連絡先	電話番号	093-752-1185	
		FAX	093-752-1186	
E メールアドレス		kitaelv@crest.ocn.ne.jp		

22.22.2 技術情報

キーワード	廃プラスチック、金属くず、ガラスくず		
技術名称	廃自動車解体		
技術の分類	その他(中古部品の再利用)		
目的・用途	中古部品の再利用による資源の確保		
特長	自動車リサイクル法の適用事業所		
設備、製品等の写真、イメージ	<p>部品を取り除いた後の胴ガラを当プレス機でサイコロ型に圧縮する(製品)</p> 		
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状
	産廃	金属くず	受入条件、形状
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状

供給資源・製品	廃自動車		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	枯渇性資源の節減による環境影響の抑制とCO2排出量の削減	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	購入価格低廉価	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間 100 人程度</li> <li>・産業廃棄物処理業優良業者(北九州市)</li> </ul>	

### 22.22.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃自動車	23,400	19,000	台
受入可能量	廃自動車	-	32,000	台
	ガラスくず	21,247	17,274	t
主な調達先	北部九州、山口のディーラー及び自動車整備工場			
主な供給先	九州メタル、九州製鋼			

## 22.23 株式会社ユーコーリプロ

### 22.23.1 事業者情報

名 称	株式会社ユーコーリプロ			
本社住所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 5 丁目 24-30		
資本金、出資金	400,000 千円			
従業員数	157 人 / 委託込 239 名			
設立年月日	平成 4 年			
URL	<a href="http://www.yuko-repro.co.jp/">http://www.yuko-repro.co.jp/</a>			
事業概要	使用済み遊技機の買取りサービス、処理サービス及びリユース部品・リサイクル原料としての製品化			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	営業企画部		
	担当者名	碓 千賀子		
	連絡先	電話番号	092-725-6045	
		FAX	092-725-6054	
E メールアドレス		ch-ikari@yuko-repro.co.jp		



アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出者は処理費・運賃無償で遊技機を排出できる。(処理費・運賃はメーカー負担)</li> <li>・全国回収</li> <li>・法令を遵守した適正処理</li> </ul>
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊技機という限定されたものから発生するプラスチック樹脂や鉄・非鉄金属原料であるため、製品の品質が安定している。</li> <li>・低価格なリユース部品販売</li> </ul>
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約 200 人の施設見学受入を実施。(2013 年度実績)</li> <li>・平成 25 年度 北九州市産業廃棄物処分量優良業者表彰受賞</li> <li>・ISO14001 認証維持 10 周年 表彰受賞</li> <li>・業界内での循環型リサイクルに貢献</li> </ul>

### 22.23.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	使用済み遊技機	非公開	非公開	台
受入可能量	使用済み遊技機	-	非公開	台
販売実績量の推移	リユース液晶	非公開	非公開	kg
	その他リユース部品	非公開	非公開	kg
	廃プラ	非公開	非公開	kg
	木くず	非公開	非公開	kg
	金属くず	非公開	非公開	kg
主な調達先	ぱちんこ・パチスロホール、販社等			
主な供給先	遊技機メーカー、商社等			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	リユース部品検品室を施工。 これにより、リユース部品の品質向上を実現することに成功し、リユース部品として販売できる品目が増加。			